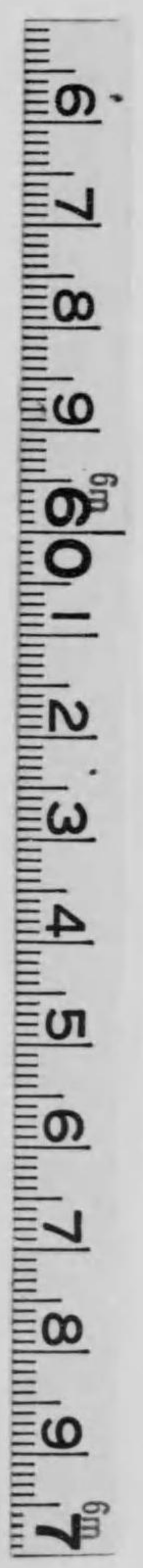


017.7
L93

ザン國際事業委員會成績報告



始



278-11
017.7
L93

ルーヴェン國際事業委員會事業成績報告

(一) 本事業ノ發端



百餘千九百十四年以後數年ニ亘リテ世界ヲ震撼セシ歐洲大戰ハ到處ニ慘劇ノ跡ヲ遺シシガ、就中
 界無比ノ損害ヲ蒙リシハ白耳義國「ルーヴェン」市ノ大學圖書館ナリキ。ソハ大戰勃發ノ年八月二十
 本該圖書館ヲ殘暴ナル敵軍ノ兵火ニ罹リテ建物及藏書(約三十萬冊)其他一切ヲ烏有ニ歸セ
 抑々該大學ハ第十五世紀ニ創立セラレタルモノニシテ、其圖書館ハ貴重ナル古文書、古刊本、古
 畫、印章、繪畫ノ多數ヲ收メ、歐洲有數ノ文庫トシテ著稱セシモノナルガ、是ニ至リテ一卷冊ヲモ
 ヲ、其名ハ遂ニ世界ノ文獻史上ヨリ除却セラレントス。當時ノ聯合諸國ハ人文尊重ノ見地ヨリ此事
 ヲ以テ一大遺憾トシ、直ニ同館復興ヲ發議シタル者アリ。聯合國ハ勿論當時中立タリシ米國其他二三
 ノ贊同ヲ得タルガ、遂ニ千九百十九年國際委員ヲ選定シ、「ルーヴェン」國際事業ト稱スル聯盟事業ヲ
 起セリ。我國亦聯合國ノ一ニ居リシヲ以テ此業ニ參加スルノ義アリ、且此機ヲ以テ世界文明ノ進運ニ
 寄與シ、又日本文化ヲ泰西ニ傳ヘンガ爲ニ、國際委員十五名ヲ舉ゲテ事ニ當ルコトトセリ。

大正
15. 12. 11
寄贈

初日高子氏可贈本

此クテ參加諸國ハ或ハ金品ヲ寄セ、或ハ圖書ヲ贈リ、或ハ圖書館ノ建築ヲ負擔シ、或ハ建物内部ノ設備裝飾ヲ引受ケ、以テ本事業主旨ノ貫徹ヲ期シ、寄贈圖書ハ既ニ數十萬冊ニ達シ、建物モ亦將ニ其工ヲ竣ヘントセリ。

我皇太子殿下往年御外遊ノ節親シク「ルーヴエン」大學ノ廢趾ヲ台覽アラセラレテ深甚ナル御同情ヲ寄セ給ヒシガ、今此舉ニ對シ宮内省ヨリ御内帑金壹萬圓、圖書若干及花瓶一箇ヲ御下賜アリタリ。

本事業ハ英、佛、米、伊其他諸國ノ協同ニ係リ、國際關係ヲ有スルノミナラズ、東西文化ノ融合ヲ促スニカアルモノナレバ、我國モ亦大方ニ披露シテ其贊同ヲ求メ、金品其他ノ寄贈ヲ勸誘スルコトトナリ、則チ「ルーヴエン」大學圖書館再興趣意書ヲ作りテ之ヲ各要所ニ配付スルコトトセリ。其寄附ニ關スル條項ニ曰ク、

- 一、寄附ハ金員書籍ニ限ラズ、物品例ヘバ美術品又ハ其模寫模造等ヲモ受納スル事
- 一、寄附申込ハ東京市上野公園東京美術學校文庫内ルーヴエン國際事業委員會子爵澁澤榮一宛ノ事
- 一、金員ハ左記銀行ノ一ニ宛テ拂込ノ事
(銀行名稱略ス)

- 一、書籍又ハ物品寄附ノ場合ハ重複ヲ避クルタメ、先ヅ其目錄ヲ寄附申込所ニ送付シ、受否ノ通知ヲ待ツテ其都度指定ノ場所ニ送付ノ事
- 一、寄附ノ書籍ハ主トシテ邦文タルベク、漢文又ハ歐文ノ書籍ハ本邦ニテ出版サレタルモノニ限ル事

(二) 初度ノ内國委員會

大正十二年七月廿七日第一回内國委員會ヲ文部省内ニ開催シ、男爵穗積陳重ヲ座長トシ、男爵古市公威ヨリ本件經過報告アリ。左記事項ヲ議定シ、尙前記「ルーヴエン」大學圖書館再興趣意書ノ文面並ニ照會スベキ團體等ニ就キテ協議セリ。

決議事項

- 一、本會ヲ「ルーヴエン」國際事業委員會ト名ヅク
- 二、會長ニ澁澤子爵、副會長ニ古市男爵ヲ推薦ス
- 三、別ニ名譽會長及名譽副會長ヲ置キ、名譽會長ニ西園寺公爵ヲ、名譽副會長ニ穗積男爵及安達大使ヲ推薦ス

四、實行委員ヲ設クルコトトシ、其數及人選ハ會長ニ一任ス
五、「パトロナージュ」ヲ請フベキ有力者ヲ名譽會員ト名ツケ、其推薦ヲ會長ニ一任ス

四

(三) 本會事務所開設以後ノ情況

右議決ノ後直ニ實行ニ着手セントセシニ、同年九月一日關東地方ノ大震災ニ遭遇シ、止ムヲ得ズ、一時事業ノ進行躊躇ノ處、本邦諸學校等ノ罹災ニ對シ却テ外國ヨリ圖書寄贈ノ提言アルアリ、旁々此儘久シク本事業ヲ遷延スベクモ非ズ。仍テ大正十二年十二月二十七日委員會ヲ開キ、成シ得ル範圍ニ於テ機宜ノ處置ヲ取ルニ決シ、尙實行委員十名ヲ擧ゲテ協議セリ。其結果大正十二年末宮内省御下賜金並ニ男爵住友吉左衛門氏寄附金アルヲ基トシテ、大正十三年一月八日以來事務所ヲ上野公園東京美術學校文庫内ニ設ケ、「ルーヴエン」大學ニ寄贈スベキ圖書ノ選擇購入其他送本一切ニ關スル事務ヲ開始シ、本會委員一名ヲ主任ニ囑託シ、其下ニ助員一名、助手一名(後増員シテ助手二名)ヲ置キテ事ニ當ラシメタリ。

事務所設置以來宮内省圖書寮及早稻田大學ヨリ大部ノ圖書寄贈アリ、引續刊行物ヲ贈リ來レル官公廳、學校等數箇處アリ。又金員ヲ寄贈セルモノノ主ナルハ岩崎家、三井家、古河家、末延家、澁澤家、

日本銀行等トス。

此等御下賜及寄附金ニ資リ本會ニテ購入ノ上「ルーヴエン」ニ贈付スベキ圖書ニ就キテハ豫メ表準圖書目錄ヲ製シ、成ルベク之ニ準由スルノ計畫ナリシガ、東京罹災直後ノ事トテ新古圖書ノ蒐集意ノ如クナラズ。仍テ其不足ヲ補フ爲ニ主任者ヲ京阪並ニ奈良地方ニ出張セシメテ百方探訪ニカメシメタリ。此クテ採集並ニ寄贈ノ圖書數千冊ニ上リシヲ以テ、大正十三年四月七日實行委員會ヲ開キテ協議後、蒐集圖書ノ展覽ヲ行ヒ各委員ノ意見ヲ求メタリ。爾後屢々此事アリ。

大正十三年五月廿一日實行委員會ヲ開キ、白耳義大使バツソソンビエール氏ヲ招待シテ本會ノ情況ヲ説キ併セテ蒐集圖書ヲ示シ、又六月十三日市内新聞記者ノ來觀ヲ請ヒテ第一回送付豫定ノ圖書ヲ事務所ニ展列セリ。

大正十三年八月七日第一回ノ圖書送付手續ヲ了シ、外務省ノ手ヲ經テ發送ノ旨ヲ白國駐在日本大使館ニ通報セリ。其圖書數左ノ如シ。

三三四部 一、九七七冊 (一一函ニ收)

大正十三年十二月一日實行委員會ヲ開キ、同月八日第二回送本手續ヲ了ス。今次發送圖書ノ數左ノ如シ。

五八七部 三、三五四冊 (二一函ニ收)

大正十四年三月十六日實行委員會ヲ開キ、第三回送付決定ノ圖書ヲ展觀ス。此日 東宮殿下御寄贈ノ花瓶ヲモ陳列ス。同年四月十四日第三回送本手續ヲ了ス。前記花瓶ヲ同時發送ス。今次送付圖書ノ數左ノ如シ。

六

五六〇部 三、一七五冊 (一六函ニ收)

大正十四年十月八日實行委員會ヲ開キ、同月十五日第四回送本手續ヲ了ス。今次送付圖書ノ數左ノ如シ。

八一〇部 一、八一八冊 (一二函ニ收)

大正十五年三月九日實行委員會ヲ開キ、四月五日第五回送本手續ヲ了ス。今次發送圖書ノ數左ノ如シ。

七九一部 二、一九四冊外ニ板木一〇枚 (一二三函ニ收)

大正十五年八月三十日第六回(最終)送本手續ヲ了ス。今回ノ送本ニハ前數回ニ漏レタル最新刊書若干ノ外ニ、第一回以來ノ送本全部ヲ記載セル分類牌子目錄一組(牌子約一萬三千枚)ヲ包含セリ。該目錄ハ去ル四月以降編纂セルモノナリ。今次送付ノ圖書數左ノ如シ。

一三〇部 一六四冊 (二函ニ收)

外ニ

目錄 一組(抽斗二十個ヲ有スル牌子箆筒一箇ニ收容)

(二函ニ收)

(四) 送本完了

送本ノ事以上ヲ以テ完了セリ。但豫約書類中未ダ終結ヲ告ゲザルモノ數部(續群書類從、鷗外全集、現代小説全集、四書註釋全書、大南北全集)アリ。此等ハ出版完了、現品收受ヲ待チテ、成ルベク取纏メ、便宜ノ方法ヲ以テ「ルーヴェン」ニ送致スル見込ナリ。

茲ニ第一回以來ノ贈付書品ヲ統計スレバ左ノ如シ。

三、二〇二部 一三、六八二冊 花瓶一箇 板木一〇枚

但卷物、折圖、拓本類ハ便宜上一點ヲ一部一冊ト見積レリ。

(五) 本會事業ノ宣言書

大正十五年三月中、左ノ意味ノ佛文宣言書ヲ作製シ、在歐當局及日本駐在白耳義大使ニ回付セリ。同

書ハ本事業殊ニ圖書ノ採集及整理ノ情況ヲ具述セルモノナルヲ以テ、茲ニ其譯文ヲ掲グルコトトセン。

今回日本ヨリ「ルーヴエン」大學圖書館ニ寄贈セル圖書ハ實ニ約一萬四千冊ノ多數ニ上リ、其採集ハ主トシテ優良ナル古書ニ於テセルガ、是レ一ハ日本ノ古文化ヲ表徴スルノ趣旨ヨリ、又ハ「ルーヴエン」大學圖書館ノ誇トセシ「エンキユナブル」ニ對スル考慮ヨリ出デシナリ。

ナレバ此等ハ悉ク日本特有ノ圖書ニ係リ、同國古來ノ文化ヲ研究スルノ資料タルベク、種類ハ哲學、神道、宗教、文學、美術、歴史、地理、經濟、法制、理學、工藝、産業、遊技等ノアラユル方面ニ亘レリ。

其中稀觀書トシテ見ルベキモノハ、西曆七百七十年頃ノ古版ニ係ル「無垢淨光經陀羅尼」二種アリ。次ニ西曆第十四世紀頃ニ「五山版」ト稱シテ佛教家ノ手ニ出版セラレタル古刊本ノ標本三部アリ。其一「寂室語」ノ如キハ藏書家ニ取リテ甚ダ愛重セラル、モノナリ。

次ニ第十七世紀ノ前半ニ於テ木活字ヲ以テ刊行セラレタルモノノ標本數部アリ。此等ハ當時刊出ノ部數甚ダ少キ爲今亦稀觀ニ屬セリ。

又「奈良繪本」ト稱スル寫本ニシテ、極彩色ノ繪畫ヲ挿メル冊子ハ、江戸時代初期ノ家庭間ニ玩バレタル御伽草紙體ノモノニシテ、是レ亦今ハ坊間ニ稀ナルモノトス。

寫本中、古寫經ノ標本數卷アリ。天平十二年光明皇后願經ヲ首トシテ、中臣寺、中尊寺、神護寺、手向山八幡宮舊藏諸卷ノ如キ、皆考古ノ料タルヲ失ハズ。

次ニ大部ノ書籍類ニアリテハ、「古事類苑」三百五十五冊、「群書類從」六百六十六冊、「本草圖譜」九十五冊ノ如キアリ。又近年ノ叢書トシテハ、國書刊行會本以下十餘種ニ及ビ、古典籍ノ複刊ヲ殆ド盡セリ。

重價ノ書類中、日本特殊ノ繪畫類ヲ影寫セル美本モ其ノ主ナルモノヲ選ビテ數十部ニ及ベリ。尙價格ヨリ言ヘバ、一二冊ノ小冊子ニテ方今珍書トシテモテハヤサル、者モ少カラズ、往々一冊數十圓乃至數百圓ノ高價ヲ呼ベル者アリ。例ヘバ前掲古版「寂室語」ハ一部二冊金四百圓ニ價セリ。

浮世繪ノ大家菱川師宣、鈴木春信等ノ原刻本ノ如キモ其ノ標本數部ヲ得タルガ、此等亦年々稀少トナリテ容易ニ佳本ヲ獲ガタキ者トス。

右等ノ圖書ヲ購入スルニ就キテノ努力モ亦容易ニアラズ。ソハ一千九百年頃ヨリ我國中流以上ノ家ニ藏書癖旺盛トナリテ、稀書ハ此等ノ人々ノ占有ニ歸シテ固定シ、又都市其他各地方ニ圖書館ノ建設其數ヲ加ヘタルヨリ、古書類ハ日ニ月ニ市場ニ稀少トナルニ隨ヒ、其ノ價格モ亦甚シク騰貴シ、二十年前ニ比シテ實ニ十倍乃至二十倍トナレル者モ珍シカラヌ狀況トナリシヲ以テナリ。

殊ニ一千九百二十三年ノ大震災後ニ至リテハ、東京市内ニ存在セシ圖書ノ燒亡數百萬冊ニ上リ、又東京帝國大學附屬圖書館ヲ始トシテ數箇ノ圖書館及大書肆ノ罹災ニヨリ、日本ニ於ケル圖書ノ著シク缺乏セルハ推測スルニ餘リアリ。

此カル場合ニ際シテ多數ノ圖書ヲ蒐集スルコトノ難事業タリシハ言ヲ待タズ。此クテ東京ニ於テ採集ノ困難ナリシ爲、主任者ハ屢々京都、大阪、奈良地方ニ出張シ、限リアル時間内ニ於テ不足ノ圖書ヲ補充スルニ力メシ勞モ亦察セラレザルベカラズ。

借送付圖書ノ大多數ハ本會ノ選擇購入ニ由ルモノナレド、其外ニ宮内省以下官公廳及國內有志ノ寄贈ニ係ルモノ若干アリ。就中 攝政宮殿下ノ御篤志ニヨリ圖書寮所藏ノ貴重ナル複本數百冊並ニ磁製花瓶一箇ヲ御寄贈相成リタルハ特筆スベキコトナリ。

蒐集ノ勞ノ大ナリシ外ニ、尙別ノ注意及經費ヲ要セシコトヲ舉ゲザルベカラズ。

抑々日本ノ古書ハ一部數小冊ヨリ成レルモノ多ク、其上歲月ヲ經テ裝釘ノ破損セルモノアリ。此等ニツキテ其一部數冊ヲ結集シテ他部トノ區別ヲ明ナラシムル爲ニ、每部ヲ冊數ニ應ジ適宜一帙乃至數帙ニ收ムル手段ヲ執リ、又裝釘ヲ修補シナガラ及ブダケ其書ノ原形ヲ損ハザルヤウニ努メタリ。蓋シ帙子ヲ作りテ一部數冊ヲ結集セザルトキハ他部ノ本ト混雜スル虞アリテ、日本ノ書籍ニ慣レザル泰西ノ圖書館當事者等ハ久シカラズシテ拾收ニ困難ヲ感ズベシ。又每部ノ書ニ書架號數ノ小札ヲ貼付スル上ニモ帙ヲ以テ洋裝本ノ外皮ニ相當スルモノヲ作り置クヲ要ス。近代ノ洋裝本以外ノ書ニ一此帙ヲ充行ビタル費用ハ決シテ輕微ニ非ズ。爲ニ圖書購入費ノ殺減ヲ餘儀無クセラレタル傾アリ。又卷物仕立ノ本ニテ今回新ニ表裝ヲ施セルモノ少カラズ。其上卷物保存上ノ便ヲ圖リテ一々之ヲ

適當ノ木製箱ニ收メタレバ、此等ノ費用モ相當ノ額ニ上レリ。

帙並ニ木函ノ外面ニ所收品ノ題名ヲ記シタルハ言フニ及バズ。要スルニ日本以外ノ國土ノ圖書館ニテ日本書籍ヲ收貯使用シ得ルマデノ用意ハ凡テ遺漏無カラシムコトヲ期セリ。

書籍ヲ圖書館ニ於テ利用セシムルニ、目錄ヲ缺クコト能ハザルハ論無シ。仍テ一書ヲ得ル毎ニ簡潔ニシテ而モ正確ナル牌子目錄ヲ製シ、其牌子約一萬四千枚ヲ集メテ、二十六類ヨリ成ル分類總目錄ニ編シ、最後ノ送本ト共ニ送付セリ。(上記二十六類ノ下ニ綱目ノ細別アリ。委シクハ附録甲號「分類表」ヲ參看セラレタシ。)

牌子目錄ノ各一枚ニハ、西人ノ檢索ニ便ズル爲ニ、紙面ノ第一行ニ羅馬字ヲ以テ書名ヲ音譯シタリ。

書名ヨリ檢索スルハ日本國ニ於ケル和漢書ニツキテノ習慣ニ隨ヘルニテ、西洋ニ於ケルガ如キ著者名ヨリノ檢索ハ我國ニテ多ク行ハレザレバナリ。要スルニ日本ノ圖書ニ對シテハ日本人ノ常用方法ニ由ルヲ至當トセン。(贈付圖書ノ品目ニツキテハ附録乙號「圖書目錄」ヲ參看セラレタシ。)

(十六) 結 論

圖書ノ寄贈ハ既ニ完了シタレドモ、尙殘レル事業トシテハ「ルーヴエン」大學圖書館ニ集積セル日

Université Catholique de Louvain

Cabinet du Recteur

Louvain, 21 Mai, 1926.

Excellence,

Je m'empresse de vous accuser la réception de la liste des livres qui font l'objet du cinquième envoi de Comité japonais pour la reconstitution de la Bibliothèque de Louvain.

Je suis vraiment confondu par la générosité dont vos compatriotes, Excellence, font preuve envers notre Université. Je ne crois pas qu'aucun compartiment composé par les livres venant d'un autre pays pourra être comparé, dans notre nouvelle Bibliothèque, au compartiment au Japon. Ce compartiment assurera à cette Bibliothèque une originalité parmi les autres bibliothèques du pays.

J'ai déjà écrit, et je ne manquerai pas de répéter au Comité japonais l'hommage de notre profonde reconnaissance je vous saurais gré, Excellence, de lui en faire parvenir encore l'expression bien sincère et je vous prie de croire. Vous même à notre vive gratitude pour la bienveillance avec laquelle vous vous faites son intermédiaire auprès de nous.

J'y joins, Excellence, l'hommage de ma considération très respectueuse.

(S) R. P. Ladeuze.

A Son Excellence Monsieur Adaci
Ambassadeur du Japon à Bruxelles.

本ノ圖書全部ノ類別的挿架ヲ書庫ノ現場ニ就キテ行ヒ、且一書ゴトニ類號書號ヲ附與シ、併セテ之ヲ該當目錄牌子ニ記入シテ檢引ニ便ズル等ノ事務アリ。其完全ヲ期センニハ、此事ニ經驗アル者ヲ派遣シテ事ニ當ラシムルニ若クハ無シ。然ルニ「ルーヴェン」ニテハ建築未竣成等ノ故ヲ以テ目下當事者ヲ迎フルニ適セズトセリト云フ。果シテ然ラバ今後ノ推移ヲ見テ適宜ノ處置ヲ講ズルノ外無カルベシ。本事業ハ畏クモ最先ニ攝政宮殿下ノ御保護ヲ蒙リ、次デ有志諸士ノ贊助ヲ得テ一應目的ヲ達シタルハ、本會委員等ノ甚ダ欣幸トスル所ナリ。但大震災直後人心尙未ダ安定セズ、經濟上ノ秩序亦未ダ立タザル間ノ事トテ、豫期ノ成績ヲ舉グル能ハザリシヲ遺憾トス。若シ他日有力ノ士本會ノ志ヲ紹ギ既集圖書ノ缺ヲ補ヒテ、我國圖書ノ外國ニ於ケル利用ヲ豊ナラシムルニ至ランコトハ、我輩ノ冀望シテ措カザル所ナリ。

(七) 「ルーヴェン」大學ノ感謝狀

大正十五年八月、既往本會ノ圖書寄贈ニ對シ「ルーヴェン」大學總長並ニ圖書館長ヨリ白耳義駐在
日本帝國大使安達峯一郎氏宛ノ謝狀ニ接セルガ、其中大學總長ノモノハ西曆一九二六年五月廿一日附
ニシテ全文左ノ如シ。

(八) 金品寄贈者

終リニ本會ノ事業ヲ贊襄アリテ金品ヲ寄附セラレタル各位ノ氏名ヲ掲ゲ、爰ニ感謝ノ誠意ヲ表ス。

- 宮内省
 住友男爵
 岩崎家
 三井家
 古河男爵
 末延道成氏
 澁澤子爵
 日本銀行
 九州帝國大學職員有志
 渡部董之介氏
 北海道中川郡豐頃村役場吏員
 男爵古市公威氏
 男爵穗積陳重氏
 男爵武井守正氏
 末松家
 田邊朔郎氏
- 太田藤四郎氏
 須藤憲三氏
 岩井武俊氏
 早稻田大學
 京都帝國大學醫學部
 九州帝國大學
 東北帝國大學
 神戸女學院
 朝鮮總督府
 農商務省
 樺太廳
 京都府
 桐生市役所
 特許局
 統計局
 東京統計協會

建築學會
 啓明會

國華俱樂部
 東洋文庫

(九) 收支決算 大正十五年九月末日調

本會事務開始以來ノ金員收支決算左ノ如シ。

宮内省御下賜	金一〇、〇〇〇圓
住友男爵寄附	金一〇、〇〇〇圓
岩崎家寄附	金一〇、〇〇〇圓
三井家寄附	金一〇、〇〇〇圓
古河男爵寄附	金一〇、〇〇〇圓
末延道成氏寄附	金一〇、〇〇〇圓
澁澤子爵寄附	金一、〇〇〇圓
日本銀行寄附	金二、〇〇〇圓
九州帝國大學醫學部職員寄附	金六九圓

收入

278
110

NO.
PATENTED NO. 119016
"F-M"
PAMPHLET BINDERS
are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High	Wide	Thick
851(菊倍)	30. cm.	x 22.5cm.	x 1cm.
852(四六倍)	26. "	x 18.5 "	x 1 "
853(菊)	22.5 "	x 15. "	x 1 "
854(四六)	18.5 "	x 12.5 "	x 1 "
855(特)	24. "	x 15. "	x 1 "

Special sizes are made to order

LIBRARY SUPPLIES IN ALL KINDS
F. MAMIYA & CO.
OSAKA-TOKYO-FUKUOKA

第七高等學校造士館長渡部董之介氏寄附 金一〇圓
北海道中川郡豊頃村役場職員九名寄附 金五圓九〇錢
重複及不用圖書賣却代 金一〇五圓
計金六三、一八九圓九〇錢

支 出

圖書購入費 金三六、〇〇五圓六七錢
製本製帙費 金三、七二八圓九九錢
器具及牌子費 金八九九圓七五錢
海外送本費(保険料共) 金一、五〇七圓一五錢
人 件 費 金一八、三二四圓二八錢
雜 費 金四〇八圓六二錢

計金六〇、八六四圓四六錢
差引殘額 金二、三二五圓四四錢

右殘金ハ報告書等印刷費及殘務費ニ充テ、猶剩餘ノ金員ハ白耳義駐在日本帝國大使ト協議ノ上「ルーヴェン」大學ニ贈リ、同學圖書館日本室ノ裝飾費ニ充ツル見込ナリ。

終

